



おりこう
折高だより 令和6年度第4号
福岡県立折尾高等学校

令和6年5月16日
校長 浪崎 陽一

おりこう 3C Week校長挨拶 「自分の可能性に蓋をするな」②

～①から続く～

さて、このノミの話は私たち人間にも同じことが言えるのではないのでしょうか。人間には、本来素晴らしい能力があります。しかし、自分の失敗体験や周りの多くの人の否定的な意見、模擬試験の厳しい判定などにより自分に限界を作ってしまう。ノミの心理的限界と同じです。「自分はダメだ」、「頑張っても無理だ」と勝手に思い込んでしまう訳です。ノミが本来は高く跳躍できる能力があるように、人間にも自分の夢を叶えたり、願望を実現する能力が十分に備わっているのに、実にもったいないことだとは思いませんか。

では、ノミの話に戻りますが、本来のジャンプが出来なくなったノミをもとの状態、本来の高い跳躍力をもったノミに戻すにはどうすればいいのか分かりますか。

それは簡単そうです。そのノミに本来持っているジャンプ力が自分に備わっていることをあらためて気づかせればよいそうです。

具体的に言うと、本来高くジャンプをするノミの姿を見せればよいそうです。ビーカーに入れられなかったノミをビーカーの中に入れるか、あるいは横に置いて本来のジャンプ力を見せれば、高く跳べなくなったノミも本来のジャンプを思い出して跳べるようになるそうです。

様々なことで自分の限界を感じている人もいるかもしれませんが、自分に自信がない人もいるかもしれません。しかし、周りの頑張っている友人を見てください。自分の本来の能力に気づき、力を発揮できるはず。自分を狭いビーカーに閉じ込めないでください。自分の可能性に蓋をしなないでください。自分で限界を定めしないでください。「自分でも行ける企業、行ける大学」ではなく、「行きたい企業、行きたい大学、取りたい資格」を目指そうありませんか。折高生の皆さんなら必ずできると信じています。

皆さんは今からの努力次第で何者にでもなれます。失敗を恐れずに果敢にチャレンジしてください。3C Weekでは先生方が工夫を重ねて、皆さんのために色々なプログラムが準備して下さっています。

ぜひ積極的、主体的に取り組んでください。皆さんの頑張りを大いに期待しています。

